



## 東桜コンピテンシー「⑥批判的思考力」について ～その2～

### ⑥「批判的思考力」critical thinking

「誰が言ったかに左右されず、事実は事実、意見は意見として区別してそれぞれを評価する力。「なぜか？」という問いを常にもち、様々な角度から客観的に物事を考える力。情報を観察し、分析し、論証し、最終的には自分の意見を提示する一連の思考技術。」

#### (i) クリティカル・シンキングを働かせながら読む力を身につけよう

批判的思考力を大いに活用する学校での活動として、探究活動があります。東桜学館では、その代表が「未来創造プロジェクト」になります。

「大学生のためのリサーチリテラシー入門～研究のための8つの力～」(山田剛史、林創著)では、研究を遂行するために身につけておくべき基礎能力として、次の8つの力をあげています。

聞く力 ⇒ 課題発見力 ⇒ ①情報収集力、②情報整理力、③読む力、④データ分析力、⑤書く力、⑥プレゼンテーション力 (①～④：インプット、④～⑥：アウトプット)

ここでは、「読む力」、特に、学術的な文章を、クリティカル・シンキングを働かせながら読む場合に心がけることについて、「大学生のためのリサーチリテラシー入門」の内容を参考にしながら確認したいと思います。

学術的文章は、ある学問分野における問題について、理由を示しながら論理的に主張するものですから、著者が、何を根拠にして、何を主張しようとしているのか、主張と根拠の間に飛躍はないかなど、クリティカル・シンキングを働かせながら読む必要があります。

#### 《学術的文章の構成》

- (a) 何らかの「問題」を提起している
- (b) 問題に対して「理由」を示しながら、論理的に「解答」(結論)している
- (c) 理由を裏付けるために、「証拠」を提示(文献やデータなどの資料を引用)している

また、「大学生のためのリサーチリテラシー入門」では、学術的文章を読む際に心がけるべきこととして、結論をはじめから鵜呑みにするのではなく、次のようなクリティカル・クエスチョンを発しながら読むことを勧めています。

第1段階：議論の骨格を明確にする

文章を正しく読み取る（問題、結論、理由を把握する）

- ①著者は何を問題としているか？
- ②著者の結論（主張）は何か？
- ③結論（主張）を支える理由（根拠）は何か？

第2段階：情報をはっきりさせる

言葉の曖昧さをチェックする（著者の定義を確認する）

- ④言葉は曖昧でないか？
- ⑤隠れた前提は何か？

第3段階：議論を評価する

議論を評価する（事実と意見を区別する、言葉のすりかえや図表に嘘はないかなどに注意する）

- ⑥理由は確かか？

また、苅谷剛彦さんの「知的複眼思考法」（講談社）では、批判的読書のコツとして20のポイントが示されていますが、それを4つにまとめると次のようになります。

- 1 読んだことをそのまま鵜呑みにしない
- 2 著者のねらいを理解する
- 3 著者の論理を丹念に追う
- 4 著者の前提を探り、疑ってかかる

「読む力」は、皆さんが自立した学習者として成長していくためには欠かせません。クリティカル・シンキングを働かせながら読むことで、より本質的な理解ができるようにしていきましょう。

（引用・参考文献）

「大学生のためのリサーチリテラシー入門」（山田剛史、林創著）ミネルヴァ書房  
「知的複眼思考法」（苅谷剛彦著）講談社

令和2年（2020年）1月